

北東アジア動向分析

中国

全国GDP総額、英国を抜き世界4位に～2005年の経済成長率は9.9%～

中国全体の2005年経済成長率は前年同期比で9.9%と、近年としては最も高い成長となり、目標の8%前後を大きく上回った。総額では18兆2,321億人民元（速報値）米ドル換算で約2.26兆ドルとなり、実質成長率が1.8%増にとどまった英国を抜き、米国、日本、ドイツに次ぐ世界第4位に躍り出た。ただし、中国政府は一人当たり平均収入が1,700ドルと世界100位以下の水準であり、農業基盤の脆弱性解消など経済上の問題を解決する必要があるとして冷静な態度も示している。

産業別の対前年伸び率は、第一次産業が5.2%、第二次産業が11.4%、第三次産業が9.6%。農業では穀物総生産高が4,840億キロで3.1%の増加だった。鉱工業生産伸び率は前年同期比で11.4%、重工業の伸びは17.0%、軽工業は15.2%だった。

固定資産投資伸び率は経済調整の中においても年間で25.7%の成長を示した。そのうち都市部での投資伸び率は27.2%、農村部では18.0%となっている。地域別では沿海部が多い東部への投資が24%増であったのに対して、中部が32.7%、西部が30.6%の伸びであることが注目される。顕著な分野では鉄・マンガン・クロムなどの金属製錬、圧延加工業の伸びが27.5%、非金属鉱産品業では26.6%など。

社会消費品小売総額伸び率は前年同期比で12.9%増だった。そのうち、都市部での伸び率は13.6%であり、製品販売業が12.6%、飲食業が17.7%、定額以上の小売総額のうち、通信機器関連が19.9%、家電・音響機器関連が14.8%、自動車関連が16.6%、石油製品関連が34.4%の増加となった。

消費価格上昇率に関しては、生産財価格が落ち着きを取り戻し、前年同期比で1.8%と昨年よりも2.1ポイントも下げた。都市部では1.6%、農村部では2.2%の上昇率である。肉類、卵類、レジャー・教育文化用品、サービス、住居などの価格上昇が足を引く形となった。

輸出入貿易総額は、1兆4,221億ドル（前年同期比23.2%増）、輸出7,620億ドル（同28.4%増）、輸入6,601億ドル（同17.6%増）で収支は1,019億ドルと、7月の人民元切り上げにも関わらず過去最高の貿易黒字となった。対ロシアでは37.1%、対オーストラリアが33.6%の増加となっている。

対日貿易では年間で1,844億ドル（同9.9%増）、EU、米国に続き第3位の貿易相手国である。日本向け輸出は、840億ドル（同14.3%増）で第4位、輸入は1,005億ドル（同6.5%増）で第1位だった。

対中直接投資は契約ベースで1,890億ドル（同23.2%増）、実行ベースでは603億ドル（同0.5%減）だった。件数では44,001件（同0.8%増）、2006年1月の速報値では前年同期比でマイナス14.6%となっており、全体的には縮小傾向がうかがえる。ただし、ハイテク分野やR&Dでの投資は継続して伸びている。地域としては東部への投資が多く、実行ベースで2.6%増、西部地域への投資は11.3%増となっている。

外貨準備高は年初から2,089億ドル増加し、年末で8,189億ドル（同34.3%増）と8,000億ドルの大台を突破、昨年6月末のIMFによる集計の段階において香港との合算ですでに日本を抜き、世界第1位の規模に達していたが、2006年は大陸単独で世界一となる可能性が高い。

活況に向かう中国のウィンタースポーツビジネス

トリノオリンピックでは日本選手の不振が課題となったが、ウィンタースポーツで遅れを取っていた中国は、金2、銀4、銅5の合計11個と大躍進を遂げ、着々とスポーツ大国としての地盤を固めつつある。中国が好成績を挙げた種目はスケート競技に集中したが、フリースタイルスキー男子エアリアルでは、韓曉鵬が中国男子初の冬季五輪金メダルを獲得した。

スキーに関しては近年盛んになってきている。主には1,800メートルの高峰にあり温泉も湧く長白山スキー場、総延長27キロで冬季アジア大会の会場にもなったヤブリスキー場や15のコースを有する二龍山スキー場などがある。北京周辺ですでに13ヵ所ものスキー場がオープンしており、シーズンには延べ100万人が滑走を楽しんでいる。

ブームに乗って、北京では面積4万平米、一日当たり3,000人の収容能力を持つ屋内スキー場も建設された。内部には飲食、娯楽、ショッピング、浴場などの施設もある。余暇を楽しみ始めた市民のホットスポットだが、今後はウィンタースポーツビジネスが商機を得てますます活況に向かうだろう。

（ERINA調査研究部研究主任 筑波昌之）

		1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
GDP成長率	%	7.8	7.1	8.0	7.3	8.0	9.1	9.5	9.9
鉱工業生産伸び率	%	10.8	8.9	9.9	8.9	10.2	12.6	16.7	11.4
固定資産投資伸び率	%	13.9	6.3	9.3	12.1	16.1	26.7	25.8	25.7
社会消費品小売総額伸び率	%	6.8	6.8	9.7	10.1	8.8	9.1	13.3	12.9
消費価格上昇率	%	0.8	1.4	0.4	0.7	0.8	1.2	3.9	1.8
輸出入収支	億ドル	436	291	241	226	304	255	320	1,019
輸出伸び率	%	0.6	6.1	27.8	6.8	22.3	34.6	35.4	28.4
輸入伸び率	%	1.5	18.2	35.8	8.2	21.2	39.9	36.0	17.6
直接投資総額伸び率（契約ベース）	%	30.4	18.9	50.8	10.4	19.6	39.0	33.4	23.2
（実行ベース）	%	0.5	9.7	0.9	14.9	12.5	1.4	13.3	0.5
外貨準備高	億ドル	1,450	1,547	1,656	2,122	2,864	4,033	6,099	8,189

（注）前年同期比

外貨準備高は各月末の数値。

（出所）中国国家统计局、中国商務部、海関統計、中国外匯管理局資料、各種報道等より作成